



しかはま自然観察会

のらえもん

2026 年度

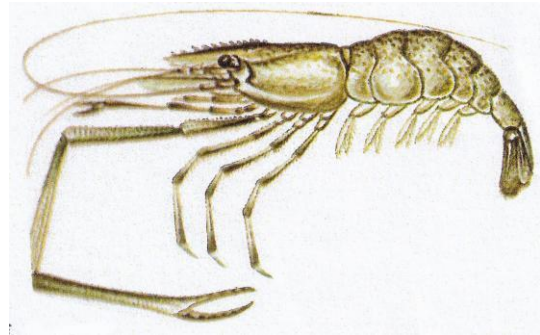
No. 3

2026. 05. 24

『 人も 自然も みんな友だち 』

第3回活動 手長エビ釣り

釣ってる、釣ってる。
岸边には、太公望がずらりと並んでいる。
みんな話もせず、一心に竿先に注目だ。
のらえもんも、そこになだれ込む。
講師に仕掛けを準備してもらい、エサのアカムシをひっかけて、
水面にポチョン。
静寂が、続く。



「釣れた！」と、実穂ちゃん。
大きな手を持った、オスの手長えびだ。
4時過ぎ、日陰になる水門の下で、次々に釣り上げた！
どの家族も、2匹以上釣り上げて、大満足な釣り日和に。
辛抱したかいがむくわれました！

1, 日 時：2026年5月24日（日）午後2」00～4：00

2, 天 気：くもり 気温 23℃ 水温 21℃

3, 場 所：新芝川（都市農業公園付近）：干潮に向かっていました。

4, 参加者：総数 14
内訳 大人 4
小学 2
幼児 2
スタッフ 6

5, 講 師：山岸 克也

6, 釣 果：10
手長エビ 8
ヨシノボリ 2
エサ：アカムシ



7, 活動の様子

3家族全員が、テナガエビを釣り上げました！

活動終了の時間が過ぎた午後4時頃、「水門の近くがつれるよ！」と、講師の山岸さんから声がかかりました。

「あー、釣れない」と、あきらめていた3家族でした。

が、「行ってみるか」と、腰を上げました。

水門の柵の上から、釣り糸をたらししました。

ほどなくして、「釣れた！」「釣れた！」「釣れた！」と、歓声があがりました。

あっという間に、それぞれ2尾を釣り上げたのでした。

喜ぶ子供の様子を見て、お母さん方までがホットしていました。

「しんぼうしたかいがあったね！」と、声かけしています。

今までの苦労が瞬時にして報われたようでした。

参加者全員が、「よかった。よかった。」と、笑顔になりました。

曇り空の中、参加者は新芝川のおもしろおもしろの場所に陣をかまえていました。

大きな玉石の上やコンクリートで階段状になった場所です。

仕掛けは山岸さんにつけてもらい、エサの小さく細い赤虫をやっとの思いで針につけ、川面に垂らしていました。

「引きは弱いから、時々引き上げてみてください」と、アドバイスが入る。

それでも、どこからも歓声が上がらない。

あたりは、曇り空のような空気が流れている。

ほかの釣り人が、大きなテナガエビを釣り上げた。

「どうぞ！」と、プレゼントしてくれた。

よく見ると、2本目の足が長い。その先のハサミで指をかむ。

手長の長いものが、オスらしい。

水槽の中のテナガエビを見がら、

「次は、僕だ！」と、釣り場にもどるのだった。

が、もうみんな嫌気ができていた。

「今日は、ダメだ」

「こんな日もあるさ」

「耐えることも、釣りのうちなんだ」

と、好きなことを言って自分をなぐさめている。

子どもたちも投げやりになり、お母さんと喧嘩ごし。

「釣れた！」の一言が、みんなを明るくしてくれた。

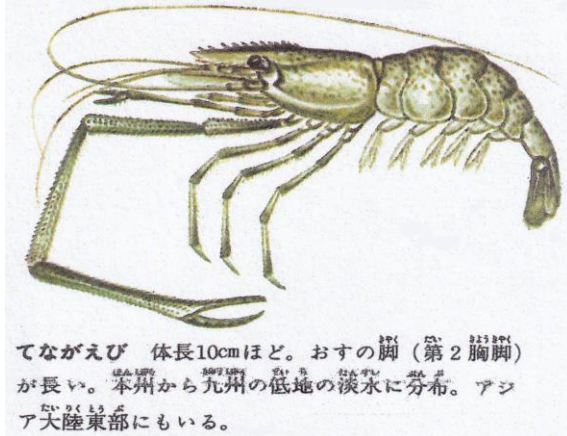
1尾のテナガエビの力はスゴイ！

釣りは、やっぱり釣れて一步が始まる。

山口さんが揚げてくれたテナガエビの、おいしかったこと！

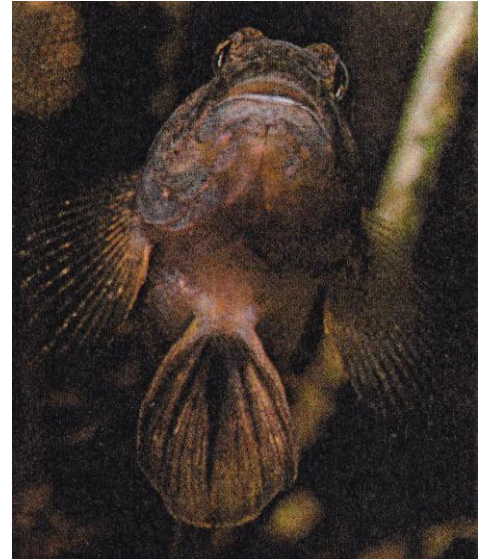
○テナガエビ

肉食、共食いもする。
オスは手が長く、体も大きい。
夜行性。日陰を好む。
雨天・曇り空のほうがよく釣れる。
初夏から成熟期にはいり、浅瀬に出てくる。
その時期が釣りの対象となる。



○ヨシノボリ

ハゼの一種。
腹に腹びれがあり、
それでもものにすいつく。
すいついてヨシに登るので
ヨシノボリ。



8, ふり返りの感想

○てながえびが、はじめてつれて、うれしかったです。
ゆうきくんがほしかったてながえびで、ラッキーでした。
テナガエビ はじめてつって とびはねる

くりしま幼稚園
父

○えびが、いっぱいつれた。
えびが いっぱい とれた

栗島小3年

○きょう、てながえびがつれました。
うれしかったです。
あら川で つったよつったよ てながえび

伊興小4年

○あじめは全然つれなく、つまらないといっていました。
が、後半に沢山つれて楽しそうでした。
短い時間でしたが、楽しかったです。
手長エビ 今年は釣れた うれしいな

さつき保育園
母

○干潮になったら、手長エビがつれはじめました。
道行く人が、水槽をのぞいていました。
手長エビ 両手をのばし つってみる

カメラ担当
古高 利男

○大きいぞテナガエビの姿見てしんぼうしたこと笑顔に変わる